

残暑が短く、秋が駆け足でやって参りました。台風の影響でしょうね。朝晩がめっきり冷えてきております。秋らしい、湿度がちょうどよく素晴らしい気候となり、読書の秋、味覚の秋、スポーツの秋、行楽の秋と過ごしやすい快適な季節です。秋の彼岸の連休はゆっくりできましたか？シルバーウィークとしてこれだけ長い休みがあったのですね。

安保関連法案が国民の大多数が反対するなか9月18日に可決成立いたしました。安倍首相はアメリカ議会での演説の約束事を見事に果たしました。反対運動や安保関連記事は連休にて長いお休みをしたことで、すっかり下火となり一区切りがついた模様です。

安倍首相の詭弁は凄いですね。昨年の衆議院総選挙では安保関連は後ろに隠して、アベノミクスでの経済一本やりで、この選挙を戦い圧勝した。勝てば信任を得たと言うことで安保法案を提出して、国内で審議をする前にお得意の詭弁でアメリカに約束をして来た。本来であれば、憲法改正が先であることは間違いがない。順序を逆にしてまでして成立させたい意図は何かと問いたい。産軍共同体の力が強くなり、武器輸出ができるような国になることを危惧する。これらを隠して次はアベノミクスの新しい3本の矢を出してきました。

目指すは「一億総活躍」社会であり、少子高齢化に歯止めをかけ、50年後も、人口1億人を維持する。と9月24日の両院議員総会後の記者会見でニッポン一億総活躍プランを提示し、アベノミクスは「第二ステージ」へと移りますと宣言した。

- ① 希望を生み出す強い経済 (GDP600兆円を目指す)
- ② 夢をつむぐ子育て支援 (希望出生率1.8)
- ③ 安心につながる社会保障 (介護離職ゼロの実現)

明日への「希望」は、強い経済なくして、生み出すことはできません。「経済最優先」です。待機児童ゼロを実現し、幼児教育の無償化を更に拡大。本人の努力次第で、大きな「夢」を紡いでいくことができる。そうした社会をつくりあげていきたい。

「介護離職ゼロ」を目指して、介護施設の整備や、介護人材の育成を進め、在宅介護の負担を軽減する。仕事と介護が両立できる社会づくりを、本格的にスタートさせたいと思います。急速な高齢化の進展、社会保障負担の増加というピンチをチャンスと捉え意欲あふれる高齢者の皆さんに、社会の担い手としてもっと活躍して頂く。「生涯現役社会」の構築を目指します。との内容であり、前と何が違うのか？

先の3本の矢に包含されている内容ではないのか？そもそもアベノミクスは強い経済を目指してやってきていたはずであり、インフレ率を2%と掲げてきたが、結果は達成できず。GDP600兆円にするには数字的に成長率2~3%で2020年ごろに達成できるのだが・・・

① ②③を力強く推し進めて、それに伴うインフラの整備も怠りなく進めることも大事です。